

長い間お世話になりました

日野ビーチボール育成会



日野中学校のビーチボール部が7月で休部となりました。

ビーチボールは、富山県発祥のニユースポーツで、町内でも多くの方が取り組まれ、全国的な大会で活躍される選手もおられるほど、日野町でも活発なスポーツの1つです。ビーチボール部は学校の先生ではなく、地域の方々で組織された「日野ビーチボール育成会（代表成瀬豊さん（安部居）」の皆さんが指導されてきました。

今回、部員数の減少により、残念ながら休部することになりましたが、最後の活動日も部員同士で声を掛け合い、楽しくプレーされる姿がありました。指導者の皆さんには、発足から20年以上の長年にわたり、熱心に子ども達の育成・指導にご尽力いただきました。長い間、本当にありがとうございました。

日野祭曳山囃子方交流会が

優良観光・物産団体表彰を受賞



このたび、日野祭曳山囃子方交流会（中村幸太郎会長）が公益社団法人びわこビジターズビューローの優良観光・物産団体表彰を受賞されました。

この賞は滋賀県における観光および物産振興の発展に顕著な功績があった個人または団体などに贈られるもので、日野祭曳山囃子方交流会は日野祭囃子の伝承と後継者の育成を行うとともに県内外で祭囃子の演奏活動を積極的に実施されており、地域活性化に寄与されていることが評価されたものです。

受賞おめでとうございます。

100歳おめでと〜うございます

お体を大切に、いつまでもお元気でお過ごしください。

竹村 みわさん（寺尻）

8月6日（金）に寺尻にお住まいの竹村みわさんが100歳のお誕生日を迎えられ、町長をはじめ関係者がお祝いに伺いました。

竹村さんは鎌掛のお生まれで、結婚後は寺尻で畑仕事をしながら家を守ってこられました。「みんな大事にしてくれはる。孫までも。私は涙を流して喜んでいきます」「寝る前に、いつも手を合わせて感謝しています」と、何度も感謝の言葉を話されていました。



「家族は、「好き嫌がなく、何でもよく食べる」と、いつも感謝の気持ちを持っていること、それが長寿の秘訣かもしれない」と話してください、みわさんを囲んで笑顔が絶えないお祝いとなりました。

榎 義子さん（北脇）

8月20日（金）に北脇にお住まいの榎義子さんが100歳のお誕生日を迎えられました。お体を大切に、いつまでもお元気でお過ごしください。

地域おこし協力隊インターン生が着任されました

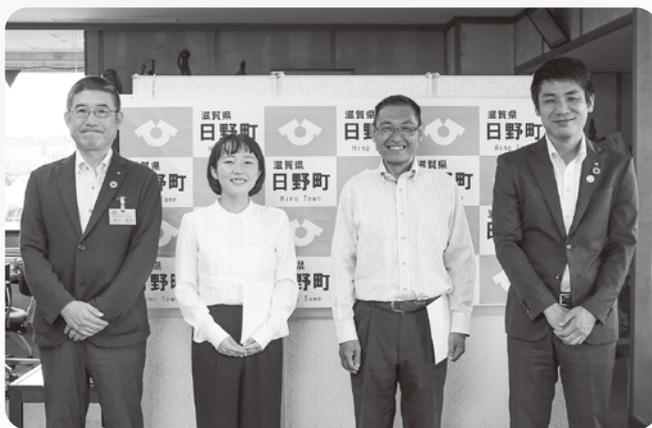
8月16日(月)、県内で初めての試みである、「地域おこし協力隊インターン」の委嘱状交付式が行われました。

地域おこし協力隊とは、自治体が都市に住む人材を地域おこし協力隊に委嘱し、最大で3年間、地域活性化の活動に従事してもらいながら、あわせて隊員の定住を図るものです。平成21年に総務省により開始され、これまでに日野町でも2名の受け入れを行いました。

「地域おこし協力隊インターン」は、今年の4月、新たに創設された制度で、最大3か月間、隊員として実際の活動や生活を行うことにより、地域おこし協力隊への参加に具体的なイメージをもっていただくことを目的としています。

このたび、「日野町地域おこし協力隊インターン生」を募集し、3名の方に活動いただくこととなりました。インターン生には、大阪府の宮根通さん、福岡県の吉海星来さん、東京都の吉井安代さんが着任され、8月16日から3か月間、

町内の「空き家」の活用や町のさまざまな情報発信に取り組んでいただきます。



●宮根通さん(写真中央右)

はじめまして。「しゃとる」こと宮根と申します。私は滋賀県が大好きで、今回の地域おこし協力隊インターン募集を知り、応募して日野町へやって来ました。

日野町の印象は第一に人の温か

さです。とても居心地の良い町で、来て良かったと感じる毎日です。中学生の頃から地域活動に携わってきた私にとって、地域コミュニティも魅力的です。また、歴史好きの観点からも、古代からの信仰が残っていたり、各時代に渡り盛りだくさんで魅力的な町です。

この町の魅力を少しでも多くの方々に知っていただけるよう活動していきたいと思っています。

●吉海星来さん(写真中央左)

出身は福岡で、佐賀大学芸術地域デザイン学部在学中の4年生です。大学でまちづくりなどを学ぶ中で、実際に地域へ飛び込んでみたいという想いがあり、日野町へ来ました！

これまでに、さまざまな地域イベント活動やプロジェクトをさせていただいた経験を生かして、日野町でも新しいことを起こしていけたらなと思っています！

日野町の皆さま、どうぞよろしくお願いたします！

●吉井安代さん(写真左)

これまで、海外ボランティアや小学校の特別支援学級補助員など、人と関わることを中心に行ってきました。この経験の中で、人と関わる楽しさや人々が協力をするこゝで生まれるエネルギーの凄さを感じました。

日野町では、物の活用をはじめ、技術や時間をシェアする仕組みを取り入れ、温かい循環の和を広げていきたいです。また、自身で空き家の活用を実践しながら、日野町内の空き家の掘り起こしや活用にも取り組んでいきたいです。



◆問い合わせ先 企画振興課 企画人権担当 ☎0748-52-6552